2026年11月8日（日）

No.	セッション	タイトル	会場	開始時刻	終了時刻	時間	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾞｸﾀｰ	ｽﾎﾟｰﾂﾃﾞﾝﾃｨｽﾄ	ｱｽﾚﾃｨｯｸﾄﾚｰﾅｰ
1	ワークショップ4	アスリートをどのように診る？ ～シリーズ3：全身を診る、多職種による総合診療的スポーツドクターG～ スポーツドクターG	第3会場	9:00	10:30	90分	×	○	×
2	シンポジウム11	『状態』のみかた ～新しい評価技術をどう選手に還元するか？ ―新しいものを使いこなせ―	第4会場	9:00	10:30	90分	○	○	○
3	教育講演10	アスリートのエネルギーバランス評価の基礎 エネルギーバランス理論のスポーツ現場での応用	第5会場	9:00	10:00	60分	○	○	○
4	シンポジウム14	IOCの考えるウェルフェアオフィサー ～スポーツ現場の安心・安全を考える～	第6会場	9:00	10:30	90分	○	○	○
5	特別講演	スポーツ医・科学を通じて誰もが自分らしく生きられる社会へ	第1会場	9:30	10:30	60分	○	○	○
6	シンポジウム10	「アスリートの睡眠マネジメント」評価と介入の最前線 ―寝る子は育つ、アスリート編―	第2会場	9:30	11:00	90分	○	○	○
7	教育講演11	難治性上腕骨外側上顆炎の治療戦略 アスリートのTFCC損傷 ―正確な診断から導く治療戦略―	第5会場	10:10	11:10	60分	○	○	×
8	シンポジウム9	共生社会を牽引するスポーツ医学の最前線 ―インクルーシブな環境整備とアスリートサポートの統合― 本当に誰もがスポーツをできるように	第1会場	10:40	12:10	90分	○	○	○
9	ワークショップ5	アスリートをどのように診る？ ～シリーズ5：ACL再建とスポーツ理学療法 最高のパフォーマンスと100年動ける膝の両立～ ー前十字靱帯損傷後に困らない膝を作るー	第3会場	10:40	12:10	90分	○	○	○
10	シンポジウム12	運動・スポーツによる健康寿命延伸：基礎研究から臨床応用へ ―健康によいスポーツの実現に―	第4会場	10:40	12:10	90分	○	○	×
11	シンポジウム15	男性アスリート特有のスポーツ医学問題 ～男もつらいよ～ ー男もつらいよ：軽井沢編―	第6会場	10:40	12:10	90分	○	○	○
12	教育講演7	スポーツ医科学からQOL向上を目指して：PHR 活用したHPP	第2会場	11:10	12:10	60分	○	○	○
13	教育講演12	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針	第5会場	11:20	12:20	60分	－	○	○
14	ランチョンセミナー5	アスリートの視力を科学する	第1会場	12:30	13:30	60分	○	○	×
15	ランチョンセミナー6	アスリートにおけるトータルコンディショニング	第2会場	12:30	13:30	60分	○	○	×
16	ランチョンセミナー7	脂質代謝から骨格筋へ ―グロビン蛋白分解物によるアスリートコンディショニングの可能性―	第3会場	12:30	13:30	60分	○	○	×
17	ランチョンセミナー8	日本の子どもたちの体力、骨格を高める靴づくり	第4会場	12:30	13:30	60分	○	○	×
18	教育講演8	スポーツで熱くなり過ぎないように	第2会場	13:40	14:40	60分	○	○	○
19	ワークショップ7	健康スポーツナースの持続的活躍を支える仕組みと制度の展望 ーナースのお仕事：スポーツ編ー	第5会場	13:40	15:10	90分	○	○	○
20	特別企画5	早期専門化とマルチスポーツ ―急いては事を仕損じる？―	第6会場	13:40	15:10	90分	○	○	○
21	ワークショップ6	アスリートをどのように診る？ ～シリーズ１：医師からのバトン診療情報からつなぐ栄養アセスメントと多職種連携サポート～	第3会場	13:50	15:30	100分	○	○	○
22	シンポジウム13	2026年のExercise is Medicine	第4会場	13:50	15:20	90分	○	○	○
23	教育講演9	多次元的なアスリートのメンタルヘルス支援	第2会場	14:50	15:50	60分	○	○	○